

令和7年度 砺波市総合教育会議（第1回）概要報告

- 1 開催日時 令和7年5月9日（金） 午後3時00分～午後3時45分
- 2 開催場所 砺波市役所 3階 小ホール
- 3 出席者 夏野市長、白江教育長、林教育長職務代理者、齋藤教育委員、岩崎教育委員、吉澤教育委員
- 4 出席職員 坪田企画総務部長、安地教育委員会事務局長、佐伯企画政策課長、幡谷教育総務課長、端谷こども課長、金平生涯学習・スポーツ課長、川合教育センター所長、小幡企画政策課企画調整係長、田中教育総務課庶務係長

5 議 事

（1）教育の条件整備など重点的に講ずべき施策について

ア 砺波市立学校の適正規模・適正配置等について（教育総務課）

6 会議の概要

（1）開会

（2）市長挨拶

市長

3月30日に砺波総合運動公園野球場のスコアボードのリニューアルセレモニーを挙行し、ご寄付をいただいた皆さんをはじめ大勢の市民の方々に参加をしていただいた。

スコアボードは、野球競技以外にも使用できるため、様々な活用を考えていきたい。

4月28日に本市では初めてとなる「病児保育」施設が太田地区のものがたり診療所に設置され、運用をはじめられた。

突然の病気で一時的に預かっていただける施設であるため、それが一つの子育て支援に繋がるものと考えている。

各学校現場や就学前の保育所や認定こども園などが頑張っていることから、市全体が子育てに優しく、子育てしやすいということが人口が減らない一つの要因となっているのではないかと考えている。

これからも、このような点に留意しながら進めていきたい。

本日は、委員の皆さんに何度も議論をいただいた砺波市立学校の適正規模・適正配置について、この総合教育会議で最終的な方策を決定したい。

従来からもご意見をいただいたり、途中経過についても折々ご説明をさせていただいてきたところである。

改めて、最後の場面ということで説明をさせていただき、ご意見をいただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

（3）議事

ア 砺波市立学校の適正規模・適正配置等について（教育総務課）

事務局 (事務局説明)

市長 令和5年の7月に砺波市立学校適正化検討委員会の立ち上げを行い、2年間で計8回に渡り検討していただいた。地域への説明会や地域からの要望による般若中学校区、庄川中学校区及び庄西中学校区においてもアンケート調査を実施し、これらの意見も踏まえ、答申書のほうを作成し、提出をしていただいた。

教育委員 この答申書を受け、本市としての最終的な方針を決定したいと考えておりますが、注意点や指摘事項がありましたらご発言をお願いします。

市長 これまで折々ご説明のあった内容を復習しながら聞いておりました。

市長 1番たくさん生徒がいる地区の保護者の中から、学校が遠いところになると通学が不便になるとの心配の声が出ているとお聞きした。

市長 答申書の中に、今後の中学校は、地理的要因及び児童生徒数の推移などの複合的な要因を考慮し、新設場所と新校舎の建設を検討と記載されているが、これが、今発言した内容の対応なのか。

市長 統合すると、遠いところから通う生徒は増えますよね。最適解からすると、1番生徒数が多いところに学校を建設すれば、バスを利用する人も少なくなるはずであるから、1番合理的だと考えます。どう考えても核となる地域のところに学校があれば、もっと不安感はなくなるのではないかと思います。

市長 庄西中学校区のアンケートで確かにそのとおりのご意見がありました。

市長 統合自体はしょうがないが、学校が遠くなってしまうことは困ると。

市長 特に油田地区の方々は、元々、出町中学校区だったことから、段々、学校が遠くなるのは困るなという思いがあったと思います。

教育委員 実際に何人かの方とお話をさせていただいた折りには、今ほど委員がご発言された内容のことも考えれると話をさせていただきました。

市長 般若中学校区の保護者の方から伺っている意見では、今後、直接統合時期に関わる各小学校の児童同士の交流や学校間でのPTA交流会などを実施し、保護者間の交流も進めてほしいとの意見がありました。

市長 今ほどの委員の発言に対して、教育長いかがですか。

教育長 今、現在、向かう授業スタイルは市内共通ですので、子供たちも違和感はないと思っております。委員ご発言のとおり交流学习的な要素はどんどん増やして、さらに親しみをもっていけるようにしたいと考えております。

市長 庄川小学校と庄東小学校と交流学习をやっていたのですが、今もやっているのですか。

教育長 今も交流学习を続けております。

市長 今までは、体を動かしたりするような交流が多かったのですが、今後は授業的な学習でも一緒に交流できるよう図っていきたいと思います。

教育委員 答申書で、3校統合という答申が出たので、それに従って進めていただきたいと思います。

市長 理由については、今までの総合教育会議などの説明でお聞きしたので、そうであろうと思います。

ただ、アンケートを見たときに庄西中学校区の保護者の方々からは、通学距離に伴う問題、学校の名称変更などに対する非常にデリケートな問題が多いということで、今後、その辺りをどう注意しながら進めていくのか。十分に検討していただければと思います。なかなか全員が納得する形にはならないと思いますが、統合した後にやっぱりしてよかったと思えるような学校にしてほしいと思っております。

市長

その通りであります。庄西中学校区の保護者の方々には、ずっと中学校の統合というのは、般若中学校と庄川中学校の話だと思っていたところに、急に庄西中学校も絡むのかという風になったため、戸惑いが最初にあったのではないかと思います。

一方で、庄西中学校の校舎というのは、耐震化にはなっているのですが、出町中学校と比べるとかなり老朽化も見られます。

構造的にも課題があるということなので、統合することによってそのような面の改善も図られると考えております。

でも、やはり遠くに学校ができるということは困るというのは実感だと思います。

いずれにいたしても、これらの点については十分注意していきたいと思えます。

教育委員

アンケートを見ると本当にびっくりとするような内容があって、これはきっと自分たちには関係ないと思っていたところに急にきて、びっくりして、その反応がこのアンケートに出たのではないかと思います。

開校準備組織について、答申書に記載されていますが、足並みを揃えてといますか、般若中学校、庄川中学校と庄西中学校の地域の皆さんが足並みを揃えて開校に向かっていくことが大事なのではないかと思います。

きっと良い学校が設立されると、この答申書を見て思うので、期待しております。

市長

そういった思いは、少なくとも関わってきた人はずっと思っていると思いますし、先ほどの委員のご発言にもあったように学校名で揉めたりということもありますので、確かに100人中100人納得はしてもらえませんが、大方の方が、ある程度納得してもらえるような案を出せるように教育委員会のほうでよろしくお願いしたいと思えます。

それでは、砺波市立学校の適正規模・適正配置等について確認をしたいと思えます。

①小学校については、当面の間、具体的な再編策について検討はしない。

②中学校については、庄西中学校、般若中学校及び庄川中学校を統合して、地理的要因や児童生徒数の推移など複合的な要因を考慮しながら、建設場所や新校舎の建設を検討する。

この大きな2つで確認していただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

教育委員

異議なし

市長

それでは、そのような形で確認させていただきます。

この総合教育会議では、このようなご意見をいただいたということで、これから先は、事務局のほうからも申し上げました教育委員会としての再編計画を作っていくこととなりますので、よろしくお願いいたします。

(4) 閉会